

## 高齢者保健福祉計画の現状について

### 1. 高齢者保健福祉計画の位置づけ

この計画は、本市における高齢者の実態をふまえながら、将来に向けてのニーズの推計・把握等を行い、介護保険による介護サービスやその他の健康増進、生きがい促進などの施策やまちづくりなど、高齢者の施策に関して総合的に策定された計画です。

市は、この計画を基に、高齢者の個人としての尊厳を尊重し、健康で生きがいのある豊かな生活、地域福祉の充実による社会参加や自己実現への支援を行い、また、自助、共助、公助の役割分担をふまえたバランスのとれた施策の展開をめざしています。

### 2. 重点的課題への取り組み状況

高齢者保健福祉計画において、今後5年間の重点的な課題として8項目掲げていますが、実施後一年間に取り組んできた主な事業を紹介します。

#### (1) 介護サービスの充実と介護保険制度へのスムーズな移行

##### 日常生活支援事業

介護保険で自立と判定された高齢者などに対して、要介護状態となることの予防及び住み慣れた地域での自立した日常生活の支援を総合的に行うため、市の独自施策として、ヘルパー派遣、デイサービス、ショートステイ及び食事サービスを実施しています。

##### 平成12年度実績（延べ数）

生活支援ヘルパー	延 1,628人	延 21,013時間
生活支援デイ	延 519人	延 2,508日
生活支援ショート	延 19人	延 118日
食事サービス	延 5,815人	延 64,705食（市・デイ）

##### テンミリオンハウス事業

テンミリオンハウス事業は、地域住民等の福祉活動（共助）に対し、市が財政支援や運営支援を行うしくみです。現在4ヶ所が開設し、ミニデイサービスやショートステイなど様々なサービスを実施しています。

平成12年度実績	ミニデイサービス（4施設）	延利用者数 4,600人
	ショートステイ（1施設）	延利用日数 258日

##### 介護保険施設整備

平成13年4月に特別養護老人ホーム「親の家」（定員：特養40人、ショート8人、デイ35人）、平成12年7月に老人保健施設「ハウスグリーンパーク」（定員100人）、平成13年3月に老人保健施設「太郎」（本市確保40床）の整備を支援し、市民優先利用枠を確保しました。

#### (2) 利用者の立場に立った福祉制度の構築

介護保険制度の導入により、福祉サービスを選択する時代になったと言われています。このため、福祉サービスの内容がより一層問われています。市では、（財）福祉公社で進めている権利擁護事業を支援するとともに、福祉サービスの質の向上を図り、サービス選択のた

めの情報提供を行うため、サービス評価システムの確立をめざしています。

現在検討を進めている武蔵野市高齢者保健福祉サービス評価システム検討委員会（委員長：安念潤司成蹊大学教授）の答申を待ちサービス評価に取り組む予定です。

(3)地域生活を総合的に支援する体制の整備

在宅介護支援センターを中核とした支援体制の強化

地域の高齢者の総合相談窓口や居宅介護支援事業者としての業務に加え、民間事業者と連携・育成のための地区別ケース検討会を開催し、総合的な支援体制を強化しています。

市内5支援センター 平成12年度実績

ケアプラン作成数	12,072件
認定調査数	2,804件
実態把握数	15,155件
窓口・電話相談件数	2,796件

(4)健康でいきいきとした生活支援

家族介護の支援事業

平成13年度4月より、重度の要介護高齢者を在宅で介護する家族に紙おむつや慰労金を支給しています。

(5)社会参加の促進

中高年齢者の地域雇用創出事業により、平成12年度も79人（うち61歳以上14人）を雇用しました。（平成11年度実績26人の雇用（うち61歳以上6人）を雇用）

(6)居住継続支援施策、まちづくりの推進

レモンキャブ

平成12年10月にスタートしたレモンキャブは、ドア・ツー・ドアの移送サービスとして、高齢者や障害者の通院や買い物などの外出を支援し、順調に運行しています。利用会員数は平成13年7月末現在、468人（男144人、女324人）です。

平成12年度実績（10/2～3/31）

---

運行日数	総利用件数	延べ運行台数	平均利用件数/日
------	-------	--------	----------

具体的サービスの目標と現状

項目	現状（平成12年度実績）	16年度目標	
1	在宅介護支援センター	5か所	6か所
2	特別養護老人ホーム	450人分（協定数370人分）	452人分
3	養護老人ホーム	28人分	（28人分）
4	軽費老人ホームA	50人分	（50人分）
5	軽費老人ホームB	100人分	（100人分）
6	介護老人保健施設	130人分	170人分
7	療養型病床群等	療養型病床群89（うち介護保険適用26） 介護力強化病院107（うち介護保険適用34）	204人
8	痴呆性高齢者グループホーム	なし	3か所
9	ホームヘルプサービス	訪問介護361,251時間	627,142時間
10	ショートステイ （短期入所生活介護・短期入所療養介護）	短期入所生活介護6,998回 短期入所療養介護3,745回 （確保人数84人分）	29,088回
11	デイサービス （デイケアサービス）	通所介護50,165回 通所リハビリ15,057回 （確保数11か所・285人分）	93,436回
12	訪問看護	訪問介護13,826回（10か所）	28,116回
13	訪問入浴介護	7,857回	46,379回
14	訪問リハビリテーション	1,132回	2,982回
15	(1)生活支援ヘルパー	21,013時間	63,492時間
	(2)食事サービス	約98,000食（調理確保数）	144,230食
	(3)生活支援デイサービス	2,508人	22,360人
	(4)生活支援ショートステイ	118回	730回
16	軽費老人ホーム ケアハウス	30人分	100人
17	高齢者生活福祉センター	なし	40人
18	高齢者住宅（シルバーピア等）	201戸（八幡町都営住宅併設及び北町高齢者センター含む）他障害者8戸、母子7戸	800戸
19	緊急通報システム	69台	500台
20	徘徊探知機	8台	80台
21	健康教育	延972人	延9,215人（253回）
22	健康相談	延572人	延1,536人（352回）
23	機能訓練	延496人	7,852人
24	訪問保健指導	0人	1,435人

（注）18. 高齢者住宅には、シルバーピア、公営住宅等の高齢者仕様の住宅のほか、軽費老人ホーム（A型、B型、ケアハウス）を含みます。

## 介護保険事業計画の現状について

### 1. 本市の介護保険事業計画

この計画は、介護保険法の規定に基づき介護保険の円滑な運用を図るため、3年ごとに5年を1期として平成12年4月からスタートしたものです。市では、介護保険を使いやすい制度とするために、居宅サービスのうち「訪問介護」、「通所介護」、「通所リハビリテーション」の3つについて、利用者の所得に関わらず自己負担10%のうち7%を助成してサービスの利用を促進したり、苦情は独自の「サービス相談調整専門員」が対応し、サービス事業者との調整などを通じて迅速な問題の解決を図っています。今後、平成15年4月から始まる第2期の計画に向けて、実績の分析と制度の検証を行いながら計画策定に着手します。

### 2. 要介護(支援)認定者数の状況

平成13年3月末現在で、要介護(要支援)と認定されている方の数は次のとおりです。65歳以上の被保険者22,683人のうち13.1%が要介護認定を受けています。

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
65歳以上	325	735	650	450	389	431	2,980
40~64歳	1	17	26	14	9	16	83
合計	326	752	676	464	398	447	3,063

### 3. サービスの利用実績

平成12年度における介護保険の各サービスの利用実績と現行の介護保険事業計画の推計値の比較は、次のとおりです。

	平成12年度計画	平成12年度実績	実績/計画(%)
訪問介護(時間/年)	279,259	361,251	129
訪問入浴介護(回/年)	12,917	7,857	61
訪問看護(回/年)	27,422	13,826	50
訪問リハビリテーション(回/年)	2,770	1,132	41
通所介護(回/年)	45,097	50,165	111
通所リハビリテーション(回/年)	13,034	15,057	116
短期入所生活介護(日/年)	13,417	6,998	52
短期入所療養介護(日/年)	13,417	3,745	28
福祉用具貸与(件/年)	783	4,582	585
居宅介護支援(件/年)	23,476	19,322	82
居宅療養管理指導(回/年)	1,771	4,986	282
痴呆対応型共同生活介護(人/月)	0	1	-
特定施設入所者生活介護(人/月)	33	67	203
福祉用具購入(件/年)	397	345	87
住宅改修(件/年)	194	304	157

介護老人福祉施設（人／月）	412	402	98
介護老人保健施設（人／月）	164	181	110
介護療養型医療施設（人／月）	172	56	33

#### 4．一人あたりの介護保険給付額

平成12年4月から平成13年3月までにサービス利用者一人あたり平均で介護保険から支払われた金額は次のとおりです。

（単位：円）

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
在宅サービス	34,538	64,460	88,243	134,219	172,942	212,157
施設サービス	-	250,580	274,387	285,710	313,950	314,180

#### 5．居宅サービス利用促進助成事業利用実績

訪問介護、通所介護、通所リハビリテーションの3サービスについて、利用者負担額10%のうち7%を助成する市独自の制度の平成12年度利用実績は次のとおりです。

	実利用者数（人） （平成13年3月）	延べ件数（件） （平成12年度計）	助成金額（円） （平成12年度計）
訪問介護	704	7,405	32,815,925
通所介護	528	6,199	25,732,937
通所リハビリテーション	194	2,048	9,016,814
合計	1,199	15,652	67,565,676

#### 6．介護保険に関する相談・苦情の状況

平成12年度に介護保険課に寄せられた介護保険に関する相談件数は752件でした。そのうち、東京都介護保険審査会や東京都国民健康保険団体連合会へのサービスに関する苦情処理に至ったケースはありません。内訳は、次のとおりです。

要介護認定に対する問合せ・不服など	39件
サービスの質・量及びケアプランに関する相談苦情	121
保険料に関する相談苦情	364
利用者負担に関する相談苦情	30
契約不履行等に関する相談苦情	1
介護保険制度一般に関する質問・相談・苦情	197
合計	752

## 障害者計画の現状について

### 1. 障害者計画の制定から現在まで

これまで武蔵野市では、ノーマライゼーションの理念をかがげ、障害を持つ人も持たない人も共に武蔵野で生活していくための様々な施策を展開してきました。

その後、社会状況をはじめとするライフスタイルの変化に伴い、障害者福祉面での新たな課題が提起される中、平成10年10月に地域福祉計画の分野別計画であるとともに障害者福祉施策の総合的な実施計画として『武蔵野市障害者計画』を策定し、この計画に基づき多くの施策を実行してきました。

### 2. 障害者計画の重点課題

障害者計画では、次の8項目を重点課題としております。

- ・ 総合的な相談とサービス提供体制の整備
- ・ 地域自立生活支援事業等の充実
- ・ ショートステイ事業の充実
- ・ 福祉公社サービスの利用の拡大
- ・ 生活訓練の充実
- ・ 障害者福祉センターの充実
- ・ 雇用支援体制の整備
- ・ バリアフリーモデル事業の実施

### 3. 障害者計画の主な整備目標とこれまでの実績

障害者計画では、下表のとおり具体的な整備目標を掲げ、これまで着実に実施してきました。

#### 武蔵野市障害者計画の主な整備目標

##### 住まいや働く場と活動の場の確保

施策（事業）の内容	平成9年4月の現状	平成14年度の目標	これまでの実績	摘 要
1 住まいの確保 グループホーム ・福祉ホーム	なし	20人	8人	平成13年1月「天の甕」 平成14年1月「(仮)びーとハウス」
2 働く場と活動の場の確保 ・授産施設・福祉工場 ・小規模作業所（定員）	136人	190人	253人	小規模作業所の定員については、卒後対策事業として市単独で定員の上乗せを行っている。

施策（事業）の内容				適 要
<b>3 障害者人材センターの設置</b> ・〔仮称〕障害者人材センター	なし	1か所	0	平成13年3月、(仮称)武蔵野市障害者人材センター設置検討委員会スタート

#### 自立の促進と社会参加の充実

施策（事業）の内容	平成9年4月の現状	平成14年度の目標	これまでの実績	摘 要
<b>4 精神障害者の社会復帰の支援</b> ・憩いの場 ・精神障害者共同作業所通所訓練	なし 2か所	1か所 3か所	1か所 0	「憩いの場」については、平成12年10月にスタートした地域生活支援センターに併設
<b>5 相談と生活支援</b> ・地域自立生活支援事業等	1か所	3か所	0	地域リハビリテーションとの関連の中で検討中

#### 在宅支援サービス

施策（事業）の内容	平成9年4月の現状	平成14年度の目標	これまでの実績	摘 要
<b>6 ホームヘルプサービス</b> ・ホームヘルパー（定員）	なし	50人	0	平成11年2月から、民間事業者への業務委託方式に変更した
<b>7 ショートステイ</b> ・ショートステイ＝市単独（定員）	2人	7人	5人	障害者福祉センター 1人 桜はうす・今泉 2人 なごみの家 2人
<b>8 デイサービス</b> ・デイサービス実施施設	2か所	20か所	0	

## 施設サービスの充実

施策（事業）の内容	平成 9 年 4 月の現状	平成 14 年度の目標	これまでの実績	摘 要
<b>9 身体障害者療 護施設</b> ・身体障害者療護 施設入所者数	4 人	6 人	0	毎年 4 人の入所希望者につ いて、入所希望登録を継続 しているが、新規入所なし
<b>10 知的障害者更生施 設</b> ・知的障害者更生 施設入所者数	80 人	90 人	7 人	平成 12 年度・5 人入所 平成 13 年度・2 人入所予定

### 4．障害者計画実行のための常設推進機関の設置

現在の障害者計画は、平成 10 年度から平成 14 年度までの 5 か年計画となっておりますが、その特徴的な点は、計画の実施状況を点検、整理する推進機関の設置を事業のひとつとしてあげていることです。

具体的には平成 13 年 3 月に有識者・障害者団体・障害者の家族などから構成される『武蔵野市障害者計画推進協議会』が発足し、客観的な立場からの計画の点検・整理が開始されました。

### 5．これからの障害者計画の展開

昨今の社会情勢を含む障害者ニーズの急激な変化は、障害者計画にも盛り込まれていなかった施策の実施をも求めるものも多く見られるようになっております。

平成 15 年度からの障害者福祉における大きな制度改革は、これまでの障害者計画を一層見直すことを必要とするものになるでしょう。

これからの障害者施策の展開は、障害者はもちろん、その家族、その他の市民も含めた人々の協働にかかっています。